

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（22件）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
1	苫小牧市公共交通協議会 (まちづくり推進課)	例年実施 (平成24年頃から継続実施)	(1)地域の实情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事 (2)計画の作成及び変更に関する事 (3)計画に定められた施策の実施に関する事 (4)再編実施事業の実施に関する事 (5)市町村運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項 (6)公共交通全般の利用促進、広報、調査・研究など、市内公共交通の利便性向上、利用の増進に関する事 (7)地方版図柄入りナンバープレート <sup>①</sup> の寄付金活用に関する事 (8)その他協議会が必要と認める事 など	学識経験者、公共交通事業者、商業団体、市民団体、行政など	令和 4年 6月 15日～24日 (22人) 令和 4年 7月 5日 (18人) 令和 5年 1月 17日～20日 (22人) 令和 5年 2月 6日 (17人)	市内バス路線やJRなどに対し、ダイヤ編成、利用満足度などの面で、実際の利用者である市民の声を反映できる。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
2	「樽前アート フォトコンテ スト活動の軌跡」 作品展 (まちづくり推 進課)	2年に一度実施	2期目の市長公約である樽前地区地域振興計画に盛り込んだ22の施策の中で、アートフォトコンテストは樽前地区の魅力を広く一般に知ってもらうための事業である。 また、こうしたことをきっかけに、地域を訪れる人が増えることで交流人口が増加し、地域の活性化に寄与するものと考えられる。	樽前山アートフォトコンテスト実行委員会	令和4年4月18日 第1回樽前山アートフォトコンテスト実行委員会開催(書面会議)  「樽前アートフォトコンテスト活動の軌跡」作品展 令和4年8月20日～28日(道の駅ウトナイ湖) 令和4年9月10日～19日(オートリゾートアルテン) 令和4年9月26日～30日(市役所) 令和4年10月15日～16日(イオンモール苫小牧) 令和4年10月16日(樽前小学校) 令和4年10月22日～23日(総合体育館) 令和4年11月12日～23日(中央図書館) 令和4年12月24日～1月9日(苫小牧西港フェリーターミナル) 令和5年2月6日～17日(市役所)	8会場にて延べ70日間行った展示会を通じて、樽前地区のPRを行うことができた。
3	第17回全国高等学校選抜アイスホッケー大会(スポーツ都市推進課)	例年実施(平成18年頃から継続実施)	アイスホッケー大会の開催(男子高校生)  全国高校総体(インターハイ)と並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケーの人気向上や競技人口の拡大のほか、本市の知名度向上や地域の活性化を図る。	全国高等学校選抜アイスホッケー大会苫小牧市実行委員会	令和4年8月2日～7日(約700人)	アイスホッケー競技の競技力向上や、関係者の多くが市内に滞在し、地域活性化を図ることができた。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
4	第95回日本学生氷上競技選手権大会スケート競技会 (スポーツ都市推進課)	単年度(新規)実施	大学日本一を決める日本学生氷上競技選手権大会スケート競技会の開催  ・スピードスケート競技 ・フィギュアスケート競技	第95回日本学生氷上競技選手権大会スケート競技会 苫小牧市実行委員会	令和5年1月5日～7日(約400人)	スケート競技の競技力向上や、関係者の多くが市内に滞在し、地域活性化を図ることができた。
5	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会 (ゼロごみ推進課)	例年実施 (平成5年頃から継続実施)	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会は、ごみの減量と資源化を全市的な運動とすることを目的に設立された組織であり、集団回収活動が効率よく行われるよう情報提供等を行っている。  ①集団回収(通年) ②資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換と連携の強化 ③資源回収団体奨励金制度による支援	町内会・自治会、老人クラブ、学校PTA、同好会、各種団体等	第1回役員会 令和4年6月22日(5名) 第2回役員会 令和5年3月1日 書面開催(8名へ送付) 第1回総会 令和4年6月30日 書面開催(223団体へ送付)	集団回収活動は、ごみの減量・リサイクル、地域のコミュニティ活動にもつながることから今後も活動を支援する。
6	民生部門ゼロカーボン専門部会 (環境保全課)	例年実施 (令和3年度から継続実施)	再エネ・省エネ設備の導入促進に向けた検討 ZEB・ZEHの普及促進に向けた検討 建物への太陽光パネル設置促進に向けた検討	苫小牧信用金庫、三井住友信託銀行、株式会社一条工務店、大鎮キムラ建設株式会社、住研ハウス株式会社、株式会社住まいのウチイケ、株式会社中村電気、株式会社新興電気、株式会社有我工業所、苫小牧工業高等専門学校	令和4年6月23日(13人) 令和4年10月27日(3人) 令和4年11月17日(9人)	市によるZEH補助事業のあり方やZEHの認定方法、ゼロカーボンハウス促進補助金の補助制度設計(市民向け新エネ・省エネ機器補助金)について協議した。 令和5年度より拡充した補助金制度を実施することができた。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
7	環境基本計画推進会議 (環境保全課)	例年実施 (平成16年度から継続実施)	環境基本計画を推進するため、市民、事業者、団体で構成し、環境基本計画を基に本市の環境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的としている。	生活協同組合コープさっぽろ宅配事業本部、株式会社イワクラ、苫小牧港開発株式会社、イオン北海道株式会社苫小牧店、北海道電力ネットワーク株式会社苫小牧支店、苫小牧市町内会連合会、特定非営利活動法人北海道環境対策連合会、苫小牧市消費者協会、苫小牧商工会議所、苫小牧教育研究会環境教育部会	令和 4年 6月24日 (14人) (書面開催) 令和 5年 3月27日 (9人)	環境基本計画推進会議主催事業(3事業)を開催し、多数の市民の参加により計画の推進及び環境意識の向上が図られた。
8	苫小牧市有害環境排除モニター連絡協議会 (青少年課)	例年実施 (昭和45年頃から継続実施)	苫小牧市内における青少年の健全な育成及び非行防止のため、青少年にとって有害な図書や環境を排除し、より良い社会環境の整備を図ることを目的とする。	事務局は苫小牧市健康こども部青少年課	令和 4年 5月12日 (9人) 令和 4年10月26日 (8人) 令和 5年 3月17日 (7人)	新型コロナウイルスの影響により、一部の活動について中止になることがありましたが、児童・生徒等の校外における行動の実態や出前講座等で児童虐待の現状等を把握した。
9	社会を明るくする運動苫小牧地区実施委員会 (青少年課)	例年実施 (昭和26年頃から継続実施)	犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的とする。	事務局は苫小牧市健康こども部青少年課	内閣総理大臣メッセージ伝達式 令和 4年 7月 1日 (2人) 交流事業 令和 5年 1月 5日 (0人) (交流事業)	犯罪や非行の防止、更生について理解を深め、それぞれの立場において、安全・安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動で、ポスターや新聞、テレビなどで広報活動が行われています。また、当市でも広報とまこまいで運動に係わる周知、7月は強調月間として、内閣総理大臣メッセージの苫小牧市長への伝達式を行っております。 児童養護・児童自立施設等との交流事業として、書籍を寄贈しております。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
10	とまこまい港まつり (観光振興課)	例年実施 (昭和31年から継続 実施)	目的 市内最大のイベントである港まつりの開催・運営。 内容 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約150店舗の露店の出店、一条通での市民おどり、マーチングフェスティバル、港湾エリアでの護衛艦等の一般公開や納涼花火大会を行っている。令和2年度同様令和3年度も中止となったが、令和4年度は市民おどり・マーチングポートカーニバルは中止だったが、規模縮小し3年ぶりに開催した。	北海道電力(株)苫小牧支店、出光興産(株)北海道製油所、トヨタ自動車北海道(株)等の企業のほか、苫小牧観光協会等の協会組織、商工会議所等約50団体が実行委員会の委員として参加	令和4年8月5日～7日(約300,000人)	多くの市民が参加することにより、ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む事ができる。
11	東胆振物産まつり (観光振興課)	例年実施 (令和4年度で第39 回が開催されている。)	目的 各地域の特産品等の展示・即売、観光宣伝などを協調して実施することを通じ、東胆振広域圏の連携を強化し地域産業の振興を図ることを目的に実施。 内容 10月末頃、MEGAドン・キホーテ3階で1市4町の特産品コーナーを設け、東胆振管内で生産もしくは加工された食料品及び民芸品や名物として親しまれてきたものを一堂に集め、地域の特色を生かした展示即売を行っている。 昨年で39回目の開催を迎え、多くの方が来場し非常に盛り上がるおまつりとなっている。	1市4町の首長をはじめ、とまこまい広域農業協同組合やいぶり中央漁業協同組合、各町の観光協会や商工会のほか14団体が実行委員会の委員として参加。	令和4年10月28日～30日(約9,200人)	本まつりを通して1市4町の特産品の展示即売を行うとともに、会場内に各町のパンフレット等を設置することで東胆振広域の連携を強化し、地域産業の振興に貢献した。 昨年も新型コロナウイルス対策を講じた中で来場者の購買意欲を促す目的で出店者の商品を購入すると応募のできるプレゼント応募企画を実施した。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
12	とまこまいコスプレフェスタ (観光振興課)	例年実施 (平成26年から継続 実施)	目的 サブカルチャーによる苫小牧市への地域振興や誘客促進を図り、地域の活性化に寄与することを目的とする。 内容 苫小牧市内の各企業などからの協力を得て、コスプレイヤーに対して撮影会場を提供。撮影の他にもステージイベントや痛車展示会、飲食ブースの出店などコスプレイヤーだけではなく、みなが楽しむことができるイベント。	MEGAドン・キホーテ苫小牧、苫小牧総鎮守樽前山神社、日本軽金属(株)苫小牧製造所等16団体が実行委員会の委員として参加	令和 4年11月 5日～ 6日 (約8,000人)	道内で2番目に誕生したコスプレイベントで、例年市外及び道外からも参加者が多数苫小牧市に訪れている。特に撮影会場については、市内各企業のご協力があり提供できているため、苫小牧市全体で1つのイベントを作り上げているといえる。昨今のアニメ文化の盛り上がりもあり、老若男女問わず楽しむことができるイベントとなっている。
13	ビジット苫小牧 観光会議 (観光振興課)	例年実施 (平成22年から継続 実施)	目的 本市における観光産業のつながりを強化するとともに、観光情報の共有により本市の観光を魅了する観光振興策を検討し、より多くの誘客を図ることを目的とする。 内容 観光事業者、観光団体、経済団体、行政機関など、それぞれの分野で観光振興を図っている団体を構成メンバーとし、北海道への外国人観光客を含め、多くの観光客を苫小牧に引き付ける観光振興策を検討し、より多くの誘客を図る会議	北海道運輸局苫小牧海事事務所、苫小牧港管理組合、苫小牧商工会議所、苫小牧観光協会、苫小牧青年会議所、北海道中小企業家同友会、フェリー協議会、北海道バス協会、JR、旅行会社、漁業協同組合、農業協同組合、一般公募者(若干名)が委員として参加	令和 4年11月 8日 (8人)	それぞれの分野で観光振興を図っている団体が一堂に会し、意見交換を行うことで観光振興に対する意識が向上。また、新たな観光振興策の検討を行い、まちぐるみで観光振興に取り組むことで、交流人口が増加し地域経済の活性化へと繋がっている。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
14	とまこまいスケートまつり (観光振興課)	例年実施 (昭和42年から継続 実施)	目的 冬的一大イベントであるとまこまいスケートまつりの開催・運営。 内容 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約50店舗の露店の出店、スケート競技やアイスホッケー大会の開催や苫小牧名物「しばれ焼き」を開催している。 令和2年度・3年度はコロナの影響により中止となったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで3年ぶりに開催した。	北海道電力(株)苫小牧支店、出光興産(株)北海道製油所、トヨタ自動車北海道(株)等の企業のほか、苫小牧観光協会等の協会組織、商工会議所等約30団体が実行委員会の委員として参加	令和5年2月4日～5日(約60,000人)	スケートの街「氷都とまこまい」を市内外にPRし、市外からの観光客も多く訪れている。 特に「しばれ焼き」は苫小牧を代表する名物として広く愛され、子ども達が楽しめるアトラクションも多く、家族で楽しめるイベントとなっている。
15	第39回全国都市緑化北海道フェア苫小牧実行委員会 (緑地公園課)	令和3年度から令和4年度までの実施	都市緑化フェアの開催を通じて、苫小牧の緑や自然の魅力を体験、体感、認識してもらい、これまでにない新たな都市緑化フェアのあり方を提案し、生物多様性の保全や自然と産業が共生する『苫小牧』を発信することを目的とする。	第39回全国都市緑化北海道フェア苫小牧実行委員会	令和4年6月25日～7月24日 (約40,100人)	市民をはじめとするフェア来場者に、「苫小牧」の豊かな緑と自然の魅力や価値、また、生物多様性の保全の大切さを認識していただけたと考えている。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
16	苫小牧音楽祭 2022 (生涯学習課)	例年実施 (令和3年頃から継 続実施)	一流音楽家による質の高い音楽 の提供及び誰もが気軽に音楽に 触れる機会を構築することか ら、あらゆる世代の市民が音楽 を通じて文化の薫り高く潤いの ある市民生活の形成に資するこ とを目的とし、鑑賞事業として 「パシフィックミュージック フェスティバル公演」「TOM ACON」「Stand u p TOMAKOMAI」、支 援事業として「TOMAKOM AI MUSIC Acade my」、実施事業として「ジュ ニア ミュージック クリニッ ク」の5事業を、企業や市民と ともに開催	苫小牧音楽祭実行委員 会	令和 4年 4月21日 (8人) 令和 4年 6月23日 (9人) 令和 4年11月11日 (7人) 令和 5年 3月15日 (11人)	優れた音楽を鑑賞する機会を広く 市民に提供するとともに、若手音 楽家や指導者などの発表の場を提 供、また、本市出身者やゆかりあ る若手音楽家を中心とした演奏会 などを支援、市内の小中学生を対 象に演奏家から直接指導を受ける 演奏クリニックなどの各種事業を 実施することで、あらゆる世代の 市民が気軽に音楽に触れる機会を 通じ、音楽文化に関する意識向上 を図ることができたと考えます。 市民からは、一流音楽家による質 の高い音楽を鑑賞できて良かった 、指導を受けれて良かったなど、 事業の目的どおりの反響があ ったものと考えます。
17	苫小牧アート フェスティバル (生涯学習課)	例年実施 (平成22年頃から継 続実施)	出光カルチャーパークと周りの 文化施設が連携し、「誰もが気 軽に文化芸術に触れる機会の充 実」を基本コンセプトに、市民 に気軽にアートに触れてもら うとともに、出光カルチャーパ ークのすばらしさを知っていただ き、市民の憩いの空間の形成を 目的とする。	苫小牧アートフェス ティバル実行委員会	令和 4年 4月26日 (8人) 令和 4年 6月21日 (9人) 令和 4年 8月 5日 (10人) ※ 書面開催 令和 4年10月19日 (5人) 令和 5年 3月22日 (6人) 委員会延べ38人  イベント：令和 4年 8月 6 日、7日 約6,800人	ワークショップの開催や一般団体 の発表機会などを通じ、多くの市 民が気軽に文化芸術に触れる機会 が作られたとともに、出光カル チャーパークの良さを知ってもら う機会につながった。



No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体 等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
18	演劇公演『私の恋人 beyond 苫小牧公演』 (生涯学習課)	単年度(新規)実施	令和4年度(2022年度)教育行政執行方針「27 文化芸術活動の推進」の施策により、広く市民が文化芸術に親しめる機会の拡充を目的に、本公演を実施する。 30人の役柄を3人で演じる音楽劇。2017年開催の日本女性会議で講演いただいた女優渡辺えり氏と、小日向文世氏、のん氏による舞台。時を超え、性を越え、物理も超えて、旧石器時代や大航海時代、そして現代を旅する中で出会う「私の恋人」とは？第160回芥川賞受賞作家 上田岳弘の原作。	私の恋人苫小牧公演実行委員会	令和4年5月20日(8人) 令和4年7月26日(8人) 令和4年10月21日(8人)	日ごろから舞台芸術を間近で鑑賞する機会が少ない市民に、一流の舞台芸術を提供することで、市民の舞台芸術に関する意識向上を図ることができたと考えます。 2017年日本女性会議で講演いただいた女優、渡辺えりさん、また、NHKの朝ドラで主演を務めた女優のんさん、北海道にゆかりのある俳優 小日向文世さんによる、一流役者の公演を本市でも上演できたことは、多くの市民が興味を持ち、舞台芸術をより身近に感じてもらったのではないかと思います。 公演当日は、幅広い年代の方800人にご来場いただき、出演者とともに熱気溢れる舞台となり、アンケート結果から、お三方の演技に対する称賛の声が多く聞かれました。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
19	芝居公演「帰ってきたカラオケマン」 苫小牧公演 (生涯学習課)	単年度(新規)実施	日頃から舞台芸術を身近で鑑賞できる機会が少ない市民に、本市出身で脚本演出を手がける劇作家 水谷龍二氏の一流の舞台芸術を提供することで、多くの市民の文化芸術並びに伝統芸能に関する意識向上を図ることを目的に開催。 内容は、俳優 風間杜夫氏の一人芝居で、過去の自分の生活を悔い改め、世間への恩返しのため社会貢献に勤しむ「牛山昭」を演じ、大好きなカラオケと持ち前の調子のよさを武器に、様々な難局に立ち向かう物語。	帰ってきたカラオケマン 苫小牧公演実行委員会	令和 4年 6月 3日 (13人) 令和 4年 7月 1日 (13人) 令和 4年 8月 5日 (10人) 令和 4年 8月23日 (11人) 令和 4年 9月 6日 (12人)	新型コロナウイルス感染症拡大等により、本市での演劇公演は、令和2年に開催した「男の純情」以来と2年ぶりの開催となりましたが、本市出身で脚本・演出を手掛ける水谷龍二氏の公演を本市でも上演できたことは、多くの市民が興味を持ち、舞台芸術をより身近に感じてもらったのではないかと考えています。当日は、幅広い年代の方387人にご来場いただき、風間杜夫氏のコミカルな演技と軽快なトークが観客の笑いを誘い、手拍子や拍手が湧き起こる熱気溢れる舞台となり、アンケート結果からも、生の演劇を継続してほしいという声が多く聞かれました。本事業により、多くの市民が舞台芸術に興味を持ち、より身近に感じてもらったものと思っております。
20	苫小牧市はたちを祝う会 (旧 苫小牧市成人式) (生涯学習課)	例年実施	はたちを祝う会の式典の企画立案や当日の運営に参画することで、主体的に行動する苫小牧市民としての自覚を深め、今後の積極的な生涯学習活動への参加を促す。	苫小牧市はたちを祝う会 実行委員会	令和 4年 9月14日 (11人) 令和 4年 9月28日 (6人) 令和 4年10月 5日 (8人) 令和 4年10月19日 (8人) 令和 4年11月 4日 (6人) 令和 4年11月18日 (5人) 令和 4年11月28日 (7人) 令和 4年12月 6日 (8人) 令和 4年12月20日 (7人) 令和 5年 1月 6日 (9人) 令和 5年 3月 3日 (10人) ※ 書面開催 委員会延べ85人  はたちを祝う会 令和 5年 1月 8日 (1,224人)	活動を通じて、これからの地域を担う主体としての自覚を深めるとともに、地域で活動する団体や市に対する理解・信頼を深めた。 ※令和5年苫小牧市はたちを祝う会 ・出席者 1, 224人(対象者1, 512人) 出席率 81.0%

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	実施年月日、参加人数	取組の効果、市民からの反響等
21	苫小牧市民文化祭 (生涯学習課)	例年実施 (昭和23年頃から継続実施)	広く市民が文化芸術に関する学習成果や活動成果を発表する場を提供することを目的とし、例年10月～11月にかけて、ステージ発表、文芸大会、総合展示発表、地域文化祭などの各種事業を、苫小牧市文化団体協議会と協働、その他多くの市民の協力により行っている。	苫小牧市民文化祭実行委員会(苫小牧文化団体協議会等)	市民文化祭表彰式 令和4年11月27日(29名)	文化団体や市民と共通のイベントに対して共に取組むことで、目標や課題を共有しながら、文化芸術に対する学習成果や活動成果を発表・鑑賞する場を創出している。また、地域の文化団体の交流の場にもなっており、地域や文化団体のつながりづくり、各文化団体のコラボレーション等による相乗効果も見込まれている。
22	選挙啓発事業 (選挙管理委員会事務局)	例年実施	市民の政治参加意識の向上を図るとともに、選挙の大切さを伝え、投票参加を促す。また、選挙の確実な執行に協力する。	苫小牧市明るい選挙推進協議会	令和4年5月17日(8人) 令和4年8月16日(8人) 令和4年11月15日(9人) 令和5年2月14日(8人)	6月苫小牧市長選挙・7月参議院議員通常選挙では、明るい選挙推進協議会の会員が期日前投票所の立会人として従事し、確実な選挙の執行に貢献している。また、選挙の期日前投票の開始に併せて啓発を行い、投票日の周知を図ることができた。